

小児(科)患者におけるインフルエンザワクチンの効果

当院の研究責任者	栃木医療センター小児科・感染アレルギー科：山口 禎夫
国内の代表研究施設・代表研究者	慶應義塾大学医学部小児科学：新庄 正宜
本研究の目的	インフルエンザワクチンの効果を、非介入で調査する。
研究期間ならびに研究対象となる期間	研究期間：許可日～2028年9月30日
研究の方法 (使用する試料等)	<p>●対象患者</p> <p>西暦2013年11月1日より2028年9月30日までの間に、小児科にてインフルエンザ診断・治療のため受診し、インフルエンザの迅速抗原検査あるいはPCR検査を受ける(受けた)方</p> <p>●利用情報</p> <p>ワクチン接種歴の有無の他、臨床情報(性、年齢、基礎疾患[新型コロナを含む他の疾患の併発も含む]、免疫抑制状態、ワクチン接種回数[コロナワクチンなどその他の疾患のワクチン情報も含む]、通園状況、症状の経過、臨床検査結果等)なお、迅速抗原検査に用いた抗原(ウイルスの成分)からインフルエンザウイルスの詳しい検査でインフルエンザの型を調べ、ワクチン株と一致するかどうかをみる場合があります。</p>
試料/情報の 他の研究機関への提供	上記の代表研究機関へ提出する。
個人情報の取り扱い	文部科学省・厚生労働省が定めた倫理指針に則って個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行う。
本研究の資金源 (利益相反)	データ解析のみであるので、特別な費用は生じない。
お問い合わせ先	<p>本研究への診療情報提供を希望されない方は、下記までご連絡ください。</p> <p>電話：028-622-5241(代)</p> <p>担当者：栃木医療センター小児科・感染アレルギー科 山口 禎夫</p>